

アプリで楽しく かんきつ学ぼう

よもう!



児童が自分で作ったプログラミング作品の出来栄を競う「具

県小学生プログラミング大会



最優秀賞に福田君(松山・久枝小5年)

小学生プログラミング大会2023(愛媛新聞社主催、愛媛大工学部共催)が21日、松山市大手町1丁目の同社であった。最優秀賞には愛媛のかんきつを学ぶアプリを制作した同市久枝小5年の福田純平君(11)が選ばれ、3月3日に東京都である全国大

会への出場権を得た。募集テーマは「みんなの暮らし」で、書類審査を通過した5人がそれぞれの制作背景や特長、苦労した点をプレゼンテーション。審査員がアイデアの新鮮さや将来性などを判断した。福田君は、かんきつの種類や栄

最優秀賞を受賞した福田純平君(21日午後、松山市大手町1丁目)

養素に関するクイズのほか、生産者から消費者に届く過程に興味をもってもらうと、選果作業を疑似体験できるゲームも盛り込んだ。受賞に「本当にうれしい。大好きな愛媛のかんきつを全国大会でもPRしたい」と意気込んでいた。

会場では環境問題や防災について考えてもらう作品なども披露され、審査員を務めた愛媛大の高橋寛工学部長(59)は「多様な社会課題を扱っており驚いた。県や大学もデジタルや情報を学べる環境づくりに取り組んでおり、若い世代が育っていくことを期待したい」と話していた。(大津貴圭)